



# Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数87名

### 今週のお祝い

夫人誕生祝: 9日 戸田忍君 12日 杉原弘一郎君、大場英之君 21日 多林美智子君 25日 高橋孝之君 26日 小土井秀明君 27日 長谷川進君 30日 松浦啓介君

### 副会長挨拶

副会長の木美です。本日は小谷会長の代理としてあいさつをさせていただきます。急なことで何をお話しようかと思ったのですが、本年度会員の森田ガバナーより『会長のあるべき姿』ということでメールがきておりました、会長はこうあるべきだということを示唆していただいておりますので、お話をさせていただきます。

まず、「会長たるべきものは形から入れ。」ということで、形というと、ふと思いますが、故中村勘三郎も「まず形から入れ、それから好きなようにくずしたらいい。形ということは非常に大事だ、形がないままやれば無茶苦茶になる。」と話されました。ということで、形はどうあるべきものかご紹介させていただきます。

- 会長たるもの100%出席せよ。
- 国家を歌うときには国旗の方を、ロータリーソングを歌うときにはロータリー会員の方を向いて、向かい合って歌う。
- 会長挨拶にはロータリー以外のことを話せ。自分で経験したこと、仕事のことなど。
- 新入会員には積極的に声をかけてみんなで仲良くやっていくこと。
- 点鐘とは始めと終わりの合図ではない、教会の鐘のように心を込めて打ちなさい。

とっておられますので、参考にさせていただいて次年度がんばっていきたく思いますので、皆さんよろしく願いいたします。

### 幹事報告

1. 本日18:30~新旧引継ぎクラブ協議会 (2F高砂)
2. 4/28 地区協議会出席お礼と訂正
3. 7/10 金山ガバナー補佐訪問クラブ協議会
4. 5/27より国際ロータリー日本事務局 事務所移転
5. 6/9中海一斉清掃参加のお願い
6. 例会変更のお知らせ  
米子中央RC 5/30(木) 夜間例会 ビジター受付あり  
米子 5/31(金) 休会 (定款第6条) なし  
鳥取中央 6/3(月) 夜間例会 あり

### 今後の予定

- 6/ 5 新年度クラブ協議会 18:30~
- 6/ 9 中海一斉清掃 8:30~
- 6/12 新入会員歓迎会 19:00~  
(芭蕉庵 駅前店)
- 6/26 夜間例会 (ホテルサンルート米子)



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

## < プログラム >

### 「アメリカ留学して得た成果」

2012-13年度 青少年交換派遣学生 大塚美月 さん



2012年8月1日から2013年1月16日まで、2012-2013 Rotary exchange student Inboundとしてアメリカ合衆国のオハイオ州にあるBay Villageという町に留学しました。この体験を私の留学の成果として報告します。

私の通っていた Bay High schoolは、オハイオ州242校中20位、アメリカ国内21,776校中512位という非常に優秀な学校でした。特にMusic educationではアメリカ国内のベスト100に選ばれるほどでした。私はこのMusic educationを授業で選択しBay High schoolのマーチングバンド、コンサートバンドに所属しました。アメリカに到着して5日後の8月6日からマーチングバンドの練習が始まりました。

自分が思っていたようにはうまくいかず、練習初日から自分はマーチングバンドには向いていないのではないかと不安になりました。「For the step(まっすぐ歩け)」などコーチの指示の意味が良く分からず、何回もミスをして落ち込みました。私が専攻した楽器のチューバは、日本で使っていた4個のボタン式で座って演奏するものとは違い、3個のピストン式の肩に担いで演奏するマーチング用のものだったので、使いづらくて演奏どころか持ち運ぶのにも苦労しました。それでも何回もステップや曲をこなしていくうちにコツをつかんでいって、5日間あった練習の最終日には最初の舞台であるフットボールの試合のハーフタイムに出ることができるほどには上達しました。

それからは9月初頭から10月後半の毎週金曜日に行われるフットボールの試合の応援でマーチングを披露したり、学校や町のイベントがあれば演奏をするという活動をしていました。高校のフットボールチームは負け試合が多く、しかも試合はほとんどが悪天候の中で行われていたので、そこは残念でしたが共に支え合い頑張れる仲間との素敵な思い出ができたのでとても幸せな体験でした。

私はアメリカの文化を学ぶとともに、現地の人たちに日本の文化を教える役目も担っていました。私がお世話になった2組のホストファミリーは、日本の文化や食べ物に興味があり、このことも私を受け入れてくれた理由の一つでした。

私は、ホストファミリーの為に何度か日本食を作ったり、料理を持ち寄るパーティーが催されるたびに日本の巻き寿司をつくりました。2人のホストマザーは、アジアマーケットで日本の食材に興味津々で色々質問をしてきました。それ以外にも、庭の落ち葉をカートで集めたり、ホストファミリーが持っているレントハウスの清掃でお小遣いを貰ったりしました。

また、ウエストレイクという車で20分程度離れた町には、国際学級という現地の人が日本の文化や言葉を勉強する施設がありました。私はそこで、日本人の子供たちのための補習校のお手伝いをしました。低学年クラスで採点や質問に答えるボランティアです。国際学級には日本人で教師をされている女性がいらっしや、外国で実際に働く日本人との出会いは、将来の自分の夢でもあり、とても尊敬できました。

根気よく私の話を聞いてくれたホストファミリーや現地の友達には深く感謝をしています。

コミュニケーションが上手く取れず、自分の意思を伝えられなかった悔しさ、日本での当たり前が通用しない文化の中で生活をする心細さを感じました。その点では今の私は、海外に行かない人より外国人が異国で経験する不安感や疎外感が分かります。米子市にあるコンベンションセンターでは鳥取県にお住いの外国籍の方が集まるイベントが催されています。私はそのボランティアに参加して各国から来た外国籍の方と交流を持ち、自分のできる限りの支援をしたいです。また、将来は日本の企業の外国支部など、外国を拠点に働く仕事に携わりたいです。

今回の留学の機会を与えて下さったロータリークラブには深く感謝するとともに、これからもロータリークラブの為に出来ることがあるならば、ボランティア等で関わっていきたいと思います。

本当にありがとうございました。